



## 【八幡川の生きもの調査】

令和5年7月23日（日）8:30～12:00  
（種同定は15:00まで）

場所：八幡川（小森ふ化場前）  
南三陸町自然環境活用センター

スタッフ：株式会社エコリス  
志津川淡水漁業組合  
南三陸ネイチャーセンター友の会  
南三陸町自然環境活用センター



## 「何の調査をしたの？」

南三陸高校自然科学部による八幡川の生きもの調査に参加しました。今回は、これまでの調査では最も上流の小森ふ化場前で、高校生の先輩と一緒に虫や魚を採りました。また、将太博士のレクチャーにより、環境DNA調査用の川水の採取も行いました。午後には、自然環境活用センターの実験室で、採取した川水から環境DNAをろ過する作業と、採ってきた生きものの種同定作業（種類別に分けた生きものの名前を調べて数を数える）も行いました。



環境DNA用川水採取



川の生きもの採取



川の生きもの採取



エコリスのみなさんによる  
生きものレクチャー



「午後は活用センターにきたよ！」



環境 DNA ろ過作業



種同定作業

### 「環境 DNA って何？」

DNA は、人の目では直接見えませんが、横のイラストのようにグルグルとした二重螺旋（らせん）の形をしていて、生物の遺伝子情報を親から子へと伝える物質です。DNA を調べると、個人の識別や生きものの種類の判定などができます。今回の調査の場合、川水に含まれるさまざまな生きものの DNA（環境 DNA：排泄物やはがれ落ちた皮ふ、ウロコなどの DNA）を、川水からろ過して、どんな生きものが八幡川に住んでいるのかを調べます。ちなみに、調査結果が分かるのは 12 月ごろになるそうです。



### 「どんな生きものが採れたの？」

〈魚〉アユ、ヤマメ、アブラハヤ、ドジョウ、ウツセミカジカ、シマウキゴリなど  
〈エビ・カニ〉スジエビ、モクスガニ、サワガニ、アメリカザリガニ  
〈虫〉コヤマトンボ、ミヤマカワトンボ、オナガミズスマシ、ヒメアメンボなど  
合計 約40種でした。

### 【次回の予定】

8月26日（土）：スノーケリング海中観察&海藻おしばづくり【おおさき生きものクラブと合同】

次回は、大崎市のおおさき生きものクラブと合同で、スノーケリング海中観察と海藻おしばづくりを行います。海の中にある海藻と海草（うみくさ）の森「藻場（もば）」を自分の目で見る事ができる絶好のチャンスです！「泳げないなあ」と不安な隊員でも、大人のサポーターの方々がそばについてくれますので、ぜひご参加ください！

